

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
①【公益目的事業】			
第一 指導・普及事業			
【目的】			
・正しいサッカー及びフットサルを普及するために、県民に対して、健全で安全なスポーツ環境を提供する必要がある。これを実現するためには、何よりも先ず、指導者と審判員の養成とその質の向上が不可欠である。指導者と審判員は、児童や青少年の各年代の身体的、技術的な発達度合いに応じた適切な指導方法を体得し、正しいルールを理解する必要がある。正しい指導ができる指導者と審判員のもとで、安全に継続して楽しみながらプレイすることが、児童や青少年の健全な発達を促し、可能性を引き出し、素質を開花させることに繋がる。			
1. 選手及び指導者育成事業			
【内容】			
・当該事業は、選手の育成・強化を通じて競技力の向上を図り、指導者を養成して埼玉県民のサッカーのレベルアップを図ることにある。			
【成果】			
今までの積み重ねになるが、登録選手が64,000人を越え、登録指導者も6,000人を越えている。この影響もあり、いくつかのカテゴリーでは全国大会での優勝を勝ち取ることができた。			
C級コーチ養成講習会	122人	通年(年4コース)	埼玉スタジアム他
D級コーチ養成講習会	118人	通年(年3コース)	県内学校等
キッズリーダー養成講習会 U-10コース	96人	通年	県内各地
キッズリーダー養成講習会 U-8コース	64人	通年	県内各地
キッズリーダー養成講習会 U-6コース	66人	通年	県内各地
C・D級コーチリフレッシュ研修会	879人	7月～3月	県内学校等
A・B級コーチ推薦選考会	44人	12月23日、1月11日	東京国際大学
県トレセンU-12		通年	県内各地
県トレセンU-13、U-14、U-15		通年	県内各地
県トレセンU-16		通年	県内各地
県GKトレセン		通年	県内各地
女子トレセンU-12、U-14、U-15、U-18		通年	県内各地
女子GKトレセン		通年	県内各地
関東トレセンリーグU-12、U-13、U-14、U-15、U-16		通年	県内各地
トライアルSFA		通年	県内中学校・高校
キッズ(U-10)エリートマッチ		通年	県内各地
2. 審判員養成事業			
【内容】			
・本法人が主催する競技会は、日本協会が認定する有資格者の審判員によって行うことが前提となっている。公認3級及び4級の審判員の養成は、都道府県サッカー協会が担当するため、本法人では日本協会の審判資格体系に基づく審判資格認定講習会を実施し、資格の認定を行う。また、有資格者の資質を高めるための研修会(審判トレセン)、資格更新のために行う更新講習会、審判の指導や評価を行うインストラクター養成講習会等を実施する。さらに各種大会に審判員やインストラクターを割当て、派遣することも行う。			
【成果】			
・有資格者数約20,600名を越え過去最高の数であり、全国3位の数を誇る。特にユース年代の審判員数の増加が著しい。また、若い年代の審判員が増加傾向にあり、県内全体の底上げに繋がっている。			
3級審判インストラクター研修会	225人	通年	県内各地
上級審判員研修会	27人	6月8日、9日	スポーツ総合研修センター上尾他
女子審判養成研修会	約200人	8月～3月	県内各地
県内市町村等開催審判勉強会等		通年	県内各地
レフリートレセン	約400人	月1回	県内各地
4級審判員新規・更新講習会	新規63回(約5,750名)、更新60回(約4,700名)	通年	県内各地
2・3級審判更新講習会	1245人	9月14日～11月10日	県内各地
2級審判員体力テスト	44人	通年	県内各地
3級昇級審査	102人	通年	県内各地
各種大会等アセッサー派遣		通年	県内各地

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
3. 広報紙発行事業			
【内容】			
・本法人が主催する各種大会の状況、最新のトピックを取り上げた広報紙「SFA NEWS」を、全加盟チーム及び関係者に配布する。また、全文をホームページに掲載している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金である。			
【成果】			
登録メンバーはもとより、県民の皆様にもSFAが行っている事業や取り組み、考え方を認識して頂いているようである。県内各地へ大会・タウンミーティング等でお邪魔した際に、「読んでいます」という声を掛けて頂く事が多い。「面白かった」という感想を聞くと、目を通して頂いている実感があり、非常に感謝している。また、メンバーには公式ウェブサイトへアップした時点で「SFAメールマガジン」を発送し、閲覧するよう働き掛けている。			
SFAニュース(ウェブサイト機関紙)発行		年6回	
4. ホームページ運営事業			
【内容】			
・本法人の組織、事業、競技会、委員会、連盟等の全ての情報を提供し、内容を日々更新してタイムリーに情報を発信している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金及びホームページ運営協賛金である。			
【成果】			
2012年度より保守管理者を変更し、仕様をリニューアル。SFA主催の試合結果や関連する事業報告等については、各担当者から届き次第更新している。公益性を持つ団体として、協会の概要・組織・定款等を公開。また、SFA NEWS発行時には「メールマガジン」をメンバーに送付し、閲覧をして頂けるよう試みている。 延アクセス数/重複を除いたアクセス数 2013年10月 91,333/37,680 : 11月 104,667/45,043 12月 60,059/24,275 : 2014年1月 63,235/26,167 2月 53,187/22,196 : 3月 51,186/20,816			
ホームページ運営管理		通年	
5. 地域での普及事業			
(1)キッズプログラム			
【内容】			
・埼玉県教育委員会を通して希望する幼稚園・保育園・小学校へ、日本協会の認定を受けた指導者を無料で派遣する巡回指導を、主として実施している。年間約40の園・学校を巡回する。他に、栄養講座や1日のサッカースクールなどがある。			
【成果】			
・指導者講習により、質の高い指導ができることを期待している。栄養学講習会では、保護者を対象にした、講習により、子供たちの食事に更に興味を示した。巡回指導については、県教育委員会との依頼で、学校でのサッカー指導・及び仲間との協調性を図ることができた。リーグ戦においては、勝利至上でなく参加者全員が楽しいサッカーができた。			
栄養講座		5月～2月	県内
キッズ巡回指導		6月～2月	県内小学校・幼稚園・保育園
(2)キッズフェスティバル			
【内容】			
・幼稚園年長児(U-6)や小学校低学年児童(U-8、U-10)を対象として、サッカーに親しむ場を提供する事業。			
【成果】			
・数多くのチームに県内の素晴らしい環境のグラウンドでサッカーの試合をすることにより、子供たちにサッカーの楽しさを伝えることができた。また保護者にも勝ち負けにこだわらない試合を通じ、子供たちとともに、サッカーの楽しさを感じてもらうことができた。			
JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル2013	112チーム	6月9日、1月26日	熊谷ドーム、埼玉スタジアム第2G
JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル2013	48チーム	9月22日	熊谷ドーム
JFAキッズ(U-10)サッカーフェスティバル2013	24チーム	12月22日	三郷スカイパーク
JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバルユニクロサッカーキッズ!	138チーム	11月24日	西武ドーム

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
(3)レディース、ガールズ・サッカーフェスティバル			
【内容】			
・女子を対象としたサッカーに親しむための普及事業。スクール形式やオープン参加の試合形式のもの等がある。			
【成果】			
・未登録の女子(中学生・一般)の参加もあり、登録チーム・選手と合わせて人数が集まることで試合形式でのプレーを楽しむ場を提供できた。また、ガールズフェスティバルではサッカークリニックも実施した。			
JFAレディース/ガールズサッカーフェスティバル2013in埼玉	30人	11月10日	埼玉スタジアム第4G
JFAガールズサッカーフェスティバルin埼玉2013夏	26人	8月11日	鴻巣市陸上競技場
JFAガールズサッカーフェスティバル2013in埼玉	102人	2月2日	埼玉スタジアム第4G
JFAレディースサッカーフェスティバル2013in埼玉	40人	2月23日	埼玉スタジアム第4G
(4)スポーツ・インターンシップ	10校、48人	通年	県内中学校
【内容】			
・県内の大学生が将来教員を志望し、また、中学校サッカー部の指導を行いたい者に、本法人が公認C級コーチのライセンス取得に協力し、取得後に県内中学校の部活動のインターンを経験してもらう事業である。大学生の指導者志向の拡大、中学校の部活指導者の量的拡大も期待するもので、埼玉県教育委員会との共同開催事業である。			
【成果】			
・年間2回のC級コーチ養成講習会を開催予定だったが、うち1回は参加者2名だった為、中止とした。その他1回の講習会は8名が受講した。指導者派遣は協力大学13大学、大学生指導者48名によって県下中学校10校の部活動指導に携わり、指導者不足のサッカー部に対する支援となった。			
6. スポーツマネジャー養成事業			
【内容】			
・スポーツイベント、クラブ経営等のマネジメント能力を有する人材養成を目的とする講座。多くの県民への受講の機会を広げるために、日本協会が行っているスポーツ・マネジャーズ・カレッジ(SMC)講座を簡易版として提供する事業。スポーツビジネス、クラブ経営、財務などの9セッションを実施する。当事業の財源は、受講料である。			
【成果】			
JFAスポーツマネジャーズカレッジ・サテライト講座を徳田講師のもと、さいたま市にて開催した。主に県内からの受講生が多く、参加人数は20名。 また、例年サテライト講座以外に財務講座も行っており、財務講座ではサテライト講座受講生18名+2名にて遠藤講師のもと、さいたま市にて開催した。講義の内容はもちろん、普段接することのない受講生同士がコミュニケーションを取り、充実した時間が過ごせた。その他、今年度は既にサテライト講座を受講された方19名を対象にリフレッシュ講座も開催し、本事業の活性化を図った。			
JFAスポーツマネジャーズカレッジサテライト講座(SMCサテライト講座)・SFA特別財務講座・リフレッシュ講座	59名	6月23日(リフレッシュ)、2月1~9日(サテライト・財務)	彩の国すこやかプラザ他
7. その他の普及事業			
【内容】			
・埼玉県内の市町においてサッカーの普及振興を行い、本法人に届け出た団体(以下、市町協会)及び本法人の加盟チームによって結成され、本法人が設立許可した各連盟に対し、運営助成金を支給している。当事業は収益事業等の収入を財源としている。			
【成果】			
64,000人を越える選手と6,000人を越える指導者、約20,600人の審判員が市町協会や種別連盟の大会等でサッカーの活動を行い、毎年サッカー人口を増やしている。			
市町協会への助成金	29団体(総額2,540,000円)	通年	
各種連盟への助成金	4団体(総額1,820,000円)	通年	
全日本少年サッカー大会U-10イベント	10万円	6月16日	埼玉スタジアム

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
第二 競技会開催事業			
【目的】			
<p>・試合は、選手のパフォーマンスの表現の場であり、日頃積み重ねた練習の成果を確認する場である。選手は観客に観られることで成長し、試合の競い合いを通じて更に進化する。こうした機会を、サッカー及びフットサルに親しみたい多くの人たちへ提供するために、年代別、性別、地域や自治体別などに競技会を組織し、各種の競技会を主催又は関連団体と共同して開催する。競技会開催を通じて、県民のスポーツへの関心と理解を深め、青少年の健全な育成と生涯スポーツの推進をめざす。また、地域との連携を図ることにより、コミュニティの絆を深め、地域活動の健全な発展に寄与する。</p>			
1. 主催事業(種別)			
【内容】			
<p>・本法人が、運営に関する事項を決定できる権限と責任を負う競技会を開催する事業である。具体的には、大会要項に記載する事項(会場、スケジュール、参加資格、競技方法、競技規則等)を、本法人が責任を持って決定し、直接主催する。</p>			
【成果】			
<p>サッカー・フットサル、男性・女性、少年からシニアまで多くの選手が公式戦に参加できる環境を整備したことによって、1,700以上のチームが活動できるようになった。</p>			
第1種			
平成26年度彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会(決勝大会)	2チーム	3月30日	埼玉スタジアム第3G
平成25年度彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会(決勝大会)	8チーム	7月13日～8月4日	県内各地
埼玉県社会人連盟会長杯1次予選(各地区)兼彩の国カップ予選	75チーム	11月18日～12月8日	県内各地
埼玉県社会人連盟会長杯2次予選兼彩の国カップ予選	53チーム	1月12日～3月16日	県内各地
彩の国カップ大学代表決定戦	13チーム	3月2日～23日	県内各地
総理大臣杯埼玉県代表決定戦	12チーム	4月7日～28日	県内各地
埼玉県大学サッカーリーグ	16チーム	5月4日～12月7日	県内各地
第2種			
埼玉県サッカーU-16リーグ	33チーム	5月4日～12月7日	県内各地
埼玉県サッカーU-18リーグ	30チーム	4月7日～12月11日	県内各地
全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会1次予選	156チーム	8月24日～31日	県内各地
全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会2次決勝トーナメント	47チーム	10月12日～11月17日	県内各地
第3種			
埼玉県U-13サッカーリーグ	8チーム	9月7日～12月8日	県内各地
埼玉県U-15サッカーリーグ	10チーム	3月16日～12月7日	県内各地
埼玉県ユース(U-15)サッカー選手権大会兼高円宮杯U-15県予選	36チーム	8月31日～11月2日	県内各地
埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会	16チーム	1月～2月	県内各地
高円宮杯全日本ユース(U-15)選手権埼玉県中学校1次予選	345チーム	4月20日～7月29日	県内各地
高円宮杯全日本ユース(U-15)選手権埼玉県中学校2次予選	52チーム	7月30日～8月8日	県内各地
埼玉県ユース(U-13)中学校1次予選	311チーム	10月20日～12月27日	県内各地
埼玉県ユース(U-13)中学校2次予選	42チーム	12月1日～1月6日	県内各地
日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会埼玉県予選	66チーム	4月～6月	県内各地
高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会埼玉県クラブ大会	69チーム	3月16日～11月23日	県内各地
埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会クラブ大会	58チーム	10月19日～1月19日	県内各地
第4種			
第7回埼玉県第4種リーグ戦	390チーム	4月20日～12月9日	県内各地
第7回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会	52チーム	12月1日～23日	埼玉スタジアム2〇〇2他
全日本少年サッカー大会埼玉県大会	583チーム	4月7日～6月16日	県内各地
埼玉県第4種新人戦中央大会	491チーム	11月17日～3月1日	県内各地
女子			
埼玉県女子ユース(U-15)サッカー選手権大会	18チーム	4月	妻沼運動公園他
第34回埼玉県女子サッカー大会(兼)第36回関東・全日本女子サッカー選手権大会予選	37チーム	5月26日～6月9日	東京国際大学G・久喜総合G他
第11回JFA関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会	32チーム	8月17日、18日	群馬県草津町
埼玉県少女サッカー大会県中央大会	23チーム	10月6～14日	白岡市総合運動公園陸上競技場他
第6回会長杯埼玉県女子サッカー大会(兼)第35回埼玉県女子サッカー選手権大会	4チーム	12月15日、23日	浦和駒場他
第26回県民総合体育大会	降雪の為、中止	降雪の為、中止	降雪の為、中止
シニア			
県民総合体育大会(シニアの部)兼日第2回全国シニア(O-40)サッカー大会埼玉県予選	35チーム	9月29～11月24日	熊谷スポーツ文化公園補助競技場他
埼玉県サッカー協会会長杯/県シニアサッカー選手権(O-40)兼関東シニア選手権県予選	35チーム	2月22日～1月26日	熊谷スポーツ文化公園他
フットサル			
第13回 埼玉県フットサルリーグ1部 2013	9チーム	5月12日～11月11日	宮代町総合体育館他
第11回 埼玉県フットサルリーグ 2部 2013	10チーム	4月21日～2月22日	宮代町総合体育館他
第4回 埼玉県フットサルリーグ 3部 2013	12チーム	6月16日～2月11日	県内フットサル民間施設
第10回 埼玉県女子フットサルリーグ 2013	6チーム	4月20日～11月16日	宮代町総合体育館他
第18回全日本ユース(U-15)フットサル大会 埼玉県大会	12チーム	8月5日～9月17日	彩の国くまがやドーム体育館他
バーモンドカップ2013第23回全日本少年フットサル大会 埼玉県大会	19チーム	8月4日～9月16日	彩の国くまがやドーム体育館他
第10回全日本女子フットサル選手権大会2013 埼玉県大会	9チーム	8月10日、11日	春日部市庄和体育館
Puma Cup 2014 全日本フットサル選手権大会 埼玉県大会	34チーム	9月8日～12月8日	宮代町総合体育館他

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
2. 受託事業(委託元別)			
【内容】			
・本法人が、競技会運営の主管を担う事業であり、主催者は日本協会及び関東サッカー協会等である。競技会運営の権限と責任はすべて主催者側にある。			
【成果】			
W杯アジア最終予選を受託した。その試合でW杯出場権を獲得し、約6万人のサポーターが感動を得ることができた。埼玉のサッカーの普及に貢献できた。			
日本サッカー協会			
天皇杯全日本サッカー選手権大会	5試合	9月～12月	埼玉スタジアム・浦和駒場・熊谷スポーツ文化公園
国際試合	1試合	6月4日	埼玉スタジアム2002
第92回全国高校サッカー選手権大会	12試合	12月31日～1月5日	浦和駒場・埼玉スタジアム2002
関東サッカー協会			
第49回全国社会人サッカー大会関東予選	32チーム	6月23日～7月7日	関東各地
第46回関東大学サッカー大会	8チーム	11月3日～24日	鴻巣市立陸上競技場他
第17回関東女子ユースサッカー選手権大会(兼)第17回全日本ユースサッカー選手権大会関東地区予選	16チーム	10月19日～11月3日	東京国際大学G他
第1回全国シニア(40歳以上)サッカー大会関東地区予選会	8チーム	6月23日	熊谷スポーツ文化公園他
第12回全国シニア(50歳以上)サッカー大会関東地区予選会	8チーム	4月28日	埼玉スタジアム第3G
全日本大学フットサル大会2013関東大会	8チーム	7月20日	春日部市庄和体育館
埼玉県			
埼玉国際ジュニアサッカー大会2013	24チーム	7月26日～28日	埼玉スタジアム他
3. 補助事業(種別)			
【内容】			
・各連盟等が主催する競技会を、本法人が後援する事業である。当事業では各連盟のチーム加盟費及び選手登録費の総額に応じて補助金を交付する場合がある。 なお、受託及び補助事業における競技会においても、本法人から人を派遣し、競技会運営が要項に則って適切に行われることを担保している。当事業の財源は、競技会参加料、日本協会及び関東サッカー協会等からの補助金、各連盟からの負担金、日本協会からの受託金、入場料、大会プログラム販売収入、企業等からのプログラム制作協賛金及び大会協賛金である。			
【成果】			
サッカー・フットサル、男性・女性、少年からシニアまで多くの選手が所属する連盟の大会が計画通り行う事ができた。これにより、64,000人を越える登録選手を維持することができた。			
第1種			
県社会人サッカーリーグ1部、2部、3部	78チーム	4月1日～10月13日	県内各地
全国クラブチームサッカー選手権県大会	38チーム	6月2日～8月4日	県内各地
社会人リーグ選抜交流戦	3チーム	12月15日、1月11日	栃木県グリーンスタジアム、味の素フィールド西が丘
市町村対抗戦兼県民総合体育大会	26チーム	7月21日～9月1日	県内各地
各地区ブロックリーグ決勝大会	33チーム	10月18日～11月25日	県内各地
全国自治体職員サッカー選手権大会県予選	12チーム	4月27日～5月25日	堀崎公園サッカー場、八王子サッカー場
埼玉県大学選抜合宿	10チーム	11月	県内各地
第3種			
埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会1次リーグ	58チーム	3月～9月	県内各地
埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会決勝トーナメント	36チーム	10月～11月	県内各地
埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会1次リーグ	72チーム	5月～11月	県内各地
埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会決勝トーナメント	36チーム	12月～1月	県内各地
第4種			
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12会長杯	28チーム	6月2日～30日	吉見総合サッカー場他
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-10大会	32チーム	8月	埼玉スタジアム他
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12大会	27チーム	9月15日～11月23日	県内各地
U-12彩の国さいたまCUP	18チーム	1月	埼玉スタジアム他
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-11大会	32チーム	1月～2月	埼玉スタジアム他
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-9大会	30チーム	3月	県内各地
女子			
第21回埼玉県女子サッカーリーグサッカー大会	23チーム	5月～12月	県内各地
埼玉県女子ユース(U-15)サッカーリーグ戦	24チーム	5月11日～1月30日	県内各地
平成25年度埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会	29チーム	8月21日～9月21日	県内各地
2013年度第19回大会埼玉県U-10少女サッカー育成・交流大会	8チーム	12月22日	吉見町ふれあい広場陸上競技場
第20回選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in熊谷	48チーム	3月25日～29日	熊谷スポーツ文化公園・利根川総合運動公園
第18回埼玉県女子ユースサッカー選手権大会(兼)第18回関東女子ユース選手権大会埼玉県予選	7チーム	8月19日～9月2日	県内各地
シニア			
第6回埼玉県サッカー協会会長杯兼シニアリーグ「40 I部」兼関東シニアサッカー選手権埼玉予選	12チーム	3月～1月	県内各地
埼玉県シニアサッカーリーグ「40 II部南部/北部」,50 I部/II部, 60, 65, ロイヤル	54チーム	3月～1月	県内各地
第2回埼玉スーパーシニア(O-70)サッカー大会	12チーム	6月7日	埼玉スタジアム2002、第3G
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/1・2回戦	21チーム	9月1日、10月13日	古河スカイG、葛和田G
第9回関東シニアサッカー埼玉大会(60, 65, 70)	24チーム	10月14日	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/準々決勝、準決勝	21チーム	11月17日	九里G
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/3位決定戦	21チーム	11月24日	熊谷スポーツ文化公園補助競技場
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/決勝戦	21チーム	1月13日	埼玉スタジアム2002、第3G
フットサル			
埼玉県フットサルU-18大会(リーグ)	開催中止	開催中止	開催中止
全日本大学フットサル大会 埼玉県大会	1チーム参加のため、県予選免除で関東大会出場	-	-
フットサルリーグ参入戦入替戦	12チーム	3月8日・9日	宮代町総合体育館他
埼玉県フットサルリーグ 4部オープンリーグ	23チーム	8月4日～1月9日	県内フットサル民間施設
埼玉県U-12/U-15フットサルリーグ	16チーム	4月～12月	県内体育館
	5 ページ		

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
第三 代表関連事業			
【目的】			
・県民にサッカーに対するより一層の興味を惹かせ、理解を深めるためには、埼玉県内においてサッカーの素質ある者を、埼玉県を代表する選手に育て、更に日本トップレベルへと引き上げ、ひいては世界へと送り出す育成強化の取り組みが不可欠である。都道府県単位の参加による競技会である国民体育大会の競技会をはじめとする県内外の活動や、海外交流などのグローバルな活動を通じて、更なる競技力向上をめざす。日々たゆまぬ努力を続け、競技力を高め、夢や目標の実現に向かってチャレンジする姿は、広く県民に勇気や生きる力を与える。また、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養することにも繋がる。			
【内容】			
・国民体育大会におけるサッカー競技の埼玉県代表チームの編成を行う事業である。サッカー競技は、成年、女子、少年の3種別あり、本法人の技術委員会が中心となって強化方針、監督・スタッフの人選、チーム編成等を協議し、決定する。それぞれの監督・スタッフは代表選手の選考を行って、関東ブロック大会、本大会に臨む。また、日本のトップレベル、世界をめざし得る逸材を育てるために、競技力向上の事業を展開する。当事業の財源は、日本協会、埼玉県、及び(公財)埼玉県体育協会からの補助金、協賛企業からのユニフォーム等の物品提供である。			
【成果】			
成年男子も本大会出場を果たし、本大会には2種別が出場することができた。少年は2年連続ベスト8の成績をおさめることができた。			
日本スポーツマスターズ2013北九州大会		9月14日～17日	北九州市
国民体育大会関東ブロック大会		8月	神奈川県
国民体育大会		10月	東京都
全国大会参加チーム支援			
②【収益事業】			
第一 手数料収入及び物品販売事業			
【目的】			
・各種の手数料収入や、プーマ製品及び代表選手のカレンダー等のサッカー関連物品の販売収益をもって、公益目的事業を推進するための事業である。			
【内容】			
・手数料収入の大半を占めるのが、売店出店手数料である。売店出店を許可する競技会においては、売上金額の一定割合を出店者より受領する。当事業年度の予算は従来の実績により、55万円と見積っている。その他、加盟チームがユニフォームに企業名及び商品名等を掲示する申請手数料収入等で40万円余りを見込んでいる。 物品販売に関しては、プーマ ジャパン株式会社とサプライヤー契約を締結していることにより、プーマ製品の販売を行っており、当事業年度は50万円の販売額を見込んでいる。販売先は国体選抜チームや連盟等であり、個別チームへの販売は原則として行わない。また、ジェイリーグフォト株式会社が制作している日本代表やなでしこ、個々の選手のカレンダーの販売も行っている。販売の案内及び取りまとめは各連盟に依頼している。当事業年度の予算は従来の実績により、80万円と見込んでいる。			
【成果】			
・売店出店手数料やサプライヤー契約により、今年も大会運営や強化事業において、参加者への金銭的負担の軽減が図れた。			

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
③【その他の事業(相互扶助等事業)】			
第一 チーム及び選手登録事業			
【目的】			
・本法人の行うサッカーの指導・普及、競技会開催、代表関連、施設管理の各事業は、本法人が加盟する日本協会と連動して行われるチーム加盟及び選手登録が基本条件となっている。そして、この登録等の手続きは、誰でもサッカーを楽しむことができるようにと、あらゆる年代と性別をカバーするように制度化されている。チームに登録された選手は、その種別において行われる全ての競技会、研修会、その他のイベントに参加することができる。			
【内容】			
・ チーム加盟及び選手登録の種別は、以下のとおりであり、選手はそのいずれかに登録する必要がある。 ア 第1種 年齢を制限しない選手により構成されるチーム イ 第2種 概ね高校生年代の選手により構成されるチーム ウ 第3種 概ね中学生年代の選手により構成されるチーム エ 第4種 概ね小学生年代の選手により構成されるチーム オ 女子 女子の選手により構成されるチーム カ シニア 40歳以上の選手により構成されるチーム キ フットサル 5人制のサッカー、個人登録			
【成果】			
・選手登録数は全国2位の数となっている。2種、3種、4種、女子、シニア、フットサルは、ここ数年登録数が増加し、総数も12年連続増加している。各カテゴリーでの大会環境整備やフェスティバル開催等普及事業が実を結んでいる。	種別	チーム数(1,712チーム)	登録人数(64,029人)
	第1種	405チーム	10,242人
	第2種	184チーム	10,136人
	第3種	457チーム	20,155人
	第4種	537チーム	17,936人
	シニア	37チーム	1,396人
	女子(Lリーグ)	2チーム	53人
	女子(一般)	14チーム	441人
	女子(レディース)	2チーム	40人
	女子(大学)	5チーム	166人
	女子(高校・クラブ)	36チーム	994人
	女子(中学・クラブ)	15チーム	340人
	女子(少女)	18チーム	339人
	フットサル		1,791人
(参考)			
SFA運営会議	3回	通年	埼玉スタジアムボールルーム
SFAミッション特別委員会	10回	通年	埼玉県サッカー協会 事務所

事業報告の附属明細書については、該当事項がないため、作成を省略している。